



官民連携・市民共創で
泉大津市の“新しい”をつくる

2024年度

泉大津市 企業版

ふるさと納税



泉大津市ってどんなまち？

“新しいもの”を取り入れて、“チャレンジ”を続けるまちです！

年間40万人が訪れる多機能図書館

SHEEPLA (2021年開館)

関西最大の未利用空間
泉大津フェニックス



まちも市民も元気に健康づくり発信拠点

SHEEPATH PARK (2023年開館)

企業・大学との
包括連携協定数

(大阪府内(政令指定都市除く)) 第1位

※F5.8「大阪府・市町村公民連携推進協議会」調べ ※いしむら街の幸福度ランキング2023(大阪府版)

街の幸福度
ランキング

(府内71自治体中) 第10位

市民一人ひとりの能力・技量・才能を最大限発揮できるまち「アピリティタウン」を目指しています。民間企業などが持つ先進的な技術やノウハウを活用した実証実験を市のフィールドで展開し、泉大津市から「0→1」で全国共通の社会課題解決モデルを創出しています。是非、一緒に“未来のあたりまえ”をつくりましょう！



泉大津市長 南出賢一



泉大津市の主な地方創生プロジェクト

～暮らしの中に1つでも多くの笑顔を～

「泉大津市まち・ひと・しごと創生推進計画」

計画概要

少子高齢化や多様化する社会問題に臨機応変に対応し、将来を見据えて積極的に備えることで、市民一人ひとりが誇りをもち、快適で機能性の高い都市環境の中で、安心安全で健やかな生活ができるまちを目指し、4つの目標達成に向け、取組みを創出します。

基本目標

1. 泉大津市で働き住み続けたいと思う市民の希望をかなえる。
2. 泉大津市の強みを活かし、それらを積極的に情報発信することで様々な交流を生み出す。
3. 子育て支援や子どもたちの教育を充実させ、若い世代が魅力を感じる環境をつくる。
4. 地域が一体となった取組や支援などにより、安全・安心な暮らしと快適な住環境をつくる。



主な寄付対象事業



万博 **IZUMIOTSU EXPO 2024**

「think tomorrow, think together-未来社会を共に考える-」をコンセプトに、2025年大阪・関西万博に向けた「プレ万博」と位置づけ、健康・環境・教育・テクノロジーを中心とした取組みを多様な主体が発信し、参加者間でウェルビーイングな未来社会が共有されるような空間（イベント）を泉大津市で創造します。

健康 **「泉大津市独自」あしゆびプロジェクト**



一人ひとりが本来持つ身体能力の向上や、健康寿命の延伸を目的に体づくりの土台となるあしゆび・体幹を鍛えるプロジェクトを実施。幼児教育から高齢者向け教室まで幅広い場で展開しています。

健康 **健康の「見える化」**



「いずみおおつマイ・レコ」を導入し、自身の健康状態を可視化。未病予防先進都市を目指し、「泉大津版」健康診断の導入や一人ひとりの健康状態に合った多様な選択肢の創出を図ります。

健康 **「最先端」認知症「予防・改善」**



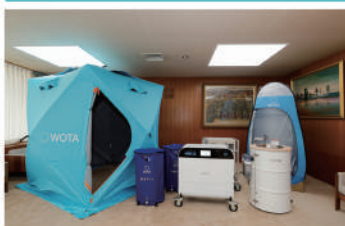
東京大学先端科学技術研究センターと連携し作成した泉大津市オリジナル認知症予防ダンスやカラオケを活用した講座など認知機能の改善や低下防止に向けた取組みを創出しています。

健康 **「女性」の健康**



女性の更年期障害などの健康課題解決に向け、ヘルスリテラシー及びQOLの向上が図れるよう、健康状態の見える化や「運動・食事・睡眠・癒し」の観点から様々なソリューションを提供しています。

防災 **災害対策事業**



能登半島地震への支援で活躍したAI水循環型シャワー。スマホで利用登録、妊産婦のホテル避難所。多言語やAR技術を使った防災標識。スマホ・固定電話・FAXへの同時情報配信。災害時も市民生活の質向上に向け、環境整備を進めています。

教育 **読書環境向上**



年間40万人が訪れる市立図書館「シープラ」内にバイオフィリックデザインを導入。音響・植物・香りなどにより読書空間に豊かな自然の環境を再現し、館内で過ごす方のパフォーマンス向上や都市ストレス軽減を図っています。

観光 **ウォーターフロント開発**



港湾エリアにおいて、海釣りやキャンプ、水質改善、グランピングBBQ施設の設置など、官民連携による様々な実証実験を実施。令和6年度にはクルーズツアーの実証実験を行うなど、新たな観光コンテンツやにぎわいづくりの拠点の創出に取り組んでいます。

教育 **校内ルールメイキング**



生徒自身が校則を設定し、制服の在り方を見直すなど「みんなで創る」を理念に生徒が主体となって舵を切る新たな学校運営体制を導入。子どもたちが質の高い深い学びを得られる環境整備を行っています。

※下記は一例です。「第4次泉大津市総合計画」に位置づけられる事業が寄付対象です。
その他の事業も受け付けておりますので、詳細は成長戦略課（裏面）までお問合せください。

\ 泉大津発 / 日本の農業を守る「食」のサプライチェーン改革

\ 農山村地域との連携から生まれる「食を軸とした健康」事業による子育て世代への魅力向上計画 /

計画概要

2023年3月に「安全・安心な食糧の安定的確保に関する構想」を策定。「安心安全な食」と「健康」の2つを掛け合わせた本市独自の新たなサプライチェーンを構築し施策を展開することで、まちの魅力を向上させ、子育て世代の転出や人口減少、少子高齢化に歯止めをかけることを目指しています。

泉大津市独自の サプライチェーン

食料の生産地と消費地の共存共生の考えに立ち、全国各地の生産地と連携。互いの課題を補完する関係を構築、取り組みを展開することで、日本の農業復興に貢献しています。

生産地

- ・ 販路拡大
- ・ 農家の収入が安定化
- ・ 遊休地の活用



連携



生産地から消費地を
繋ぐ架け橋



消費地

- ・ 安定的な食料の確保
- ・ 市民への安全で安心な食料の提供



主な寄付対象事業

\全国初/ 子育て マタニティ応援プロジェクト



妊娠届提出の翌月から出産予定月まで、毎月10kgの栄養価の高い米をプレゼントする「マタニティ応援プロジェクト」を実施し、子育て世帯を支援しています。

\泉大津市独自/ 子育て オーガニック給食



市内全ての公立認定こども園・保育所・小中学校の給食で、連携先の地域で生産した有機米などを使用。発酵食品や有機食材、旬の食材を積極的に取り入れ、体に良い特別な給食を提供しています。

健康 「食」で健康長寿



65歳を迎える市民全員に栄養価の高い米のプレゼントや80歳を迎える方への祝品として米をラインナップするなど、食から高齢期の健康づくりを促進しています。

子育て 自校調理推進プロジェクト



「温かく美味しい学校給食の提供」や「食育のさらなる推進」の観点から、市内の全中学校に自校調理方式を導入します。

寄付 特典

泉大津市では寄付金額に応じて、様々な特典をご用意しております。

10万円以上のご寄付

- ・ 感謝状の贈呈（郵送）

100万円以上のご寄付

- ・ 感謝状贈呈式の開催
- ・ 本市HP・広報紙等への掲載
- ・ 報道機関に情報提供

事業詳細は
泉大津市HPを
ご覧ください！



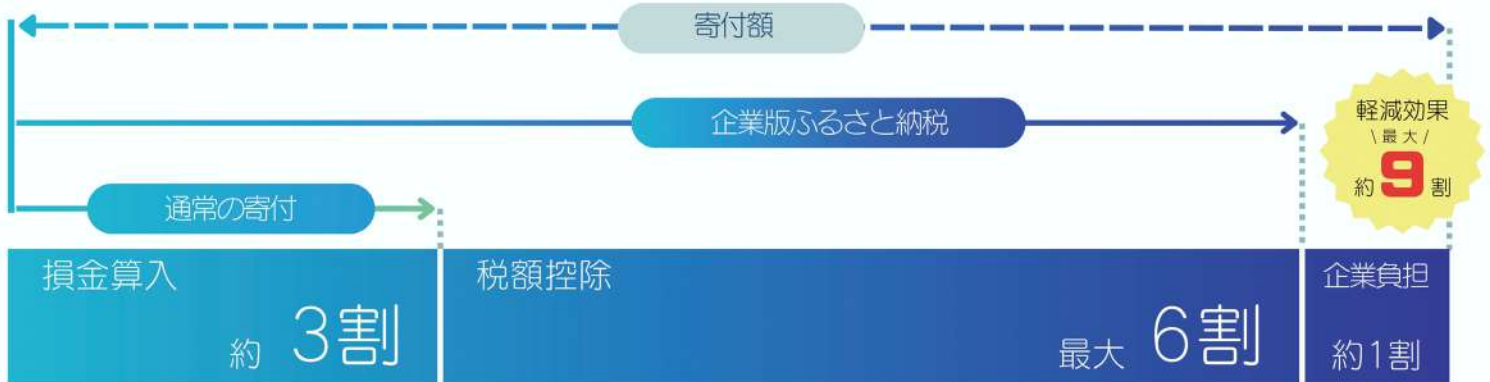
※主な寄付対象事業の写真はイメージです。

企業版ふるさと納税とは

企業の皆様が、泉大津市の地方創生プロジェクトに対して寄付を行った場合に、法人関係税から税額の控除を受けられる制度です。

制度の概要

通常の地方公共団体への寄付における損金算入による軽減効果（寄付額の約3割）と合わせて、税額控除（寄付額の最大6割）により、最大で寄付額の約9割が軽減され、実質的な企業の負担が寄付額の約1割まで圧縮されます。



例 1,000万円寄付すると、最大約900万円の法人関係税が軽減

- ①法人住民税 寄付額の4割を税額控除
(法人住民税法人税割額の20%が上限)
- ②法人税 法人住民税で4割に達しない場合、その残額を税額控除
※ただし、寄付額の1割が限度（法人税額の5%が上限）
- ③法人事業税 寄付額の2割を税額控除（法人住民税法人税割額）

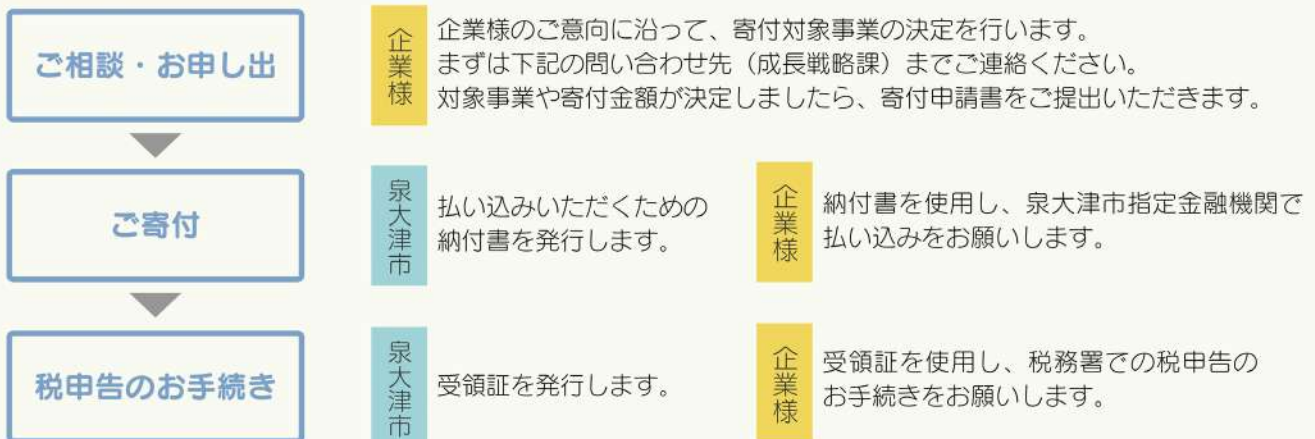
留意事項

- ◆本制度を活用して泉大津市へ寄付ができるのは、泉大津市以外に本社がある企業です。
- ◆1回当たり10万円以上の寄付が対象です。
- ◆寄付を行うことの代償として経済的な利益を受けることは禁止されています。

税額控除の手続（申告）や算出に関しては、税理士や所管する税務署へご相談ください。

💡活用する ①寄付額の最大約9割の軽減効果を活用しながら、地方創生を応援できます！
 メリット ②社会貢献や企業のPRをはじめとする事業展開に繋がります！

寄付の流れ



問い合わせ先



〒595-8686 大阪府泉大津市東雲町9番12号
 TEL/0725-33-1131 FAX/0725-21-0412
 E-mail/senryaku@city.izumiotsu.osaka.jp

